

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果について

多久市立東原産舎中央校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせします。

■調査期日

令和3年5月27日（木）

■調査の対象学年

第6学年児童・第9学年生徒

■調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語・算数・数学・質問紙）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活に置いて不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|--|--|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など |

■調査結果及び考察について

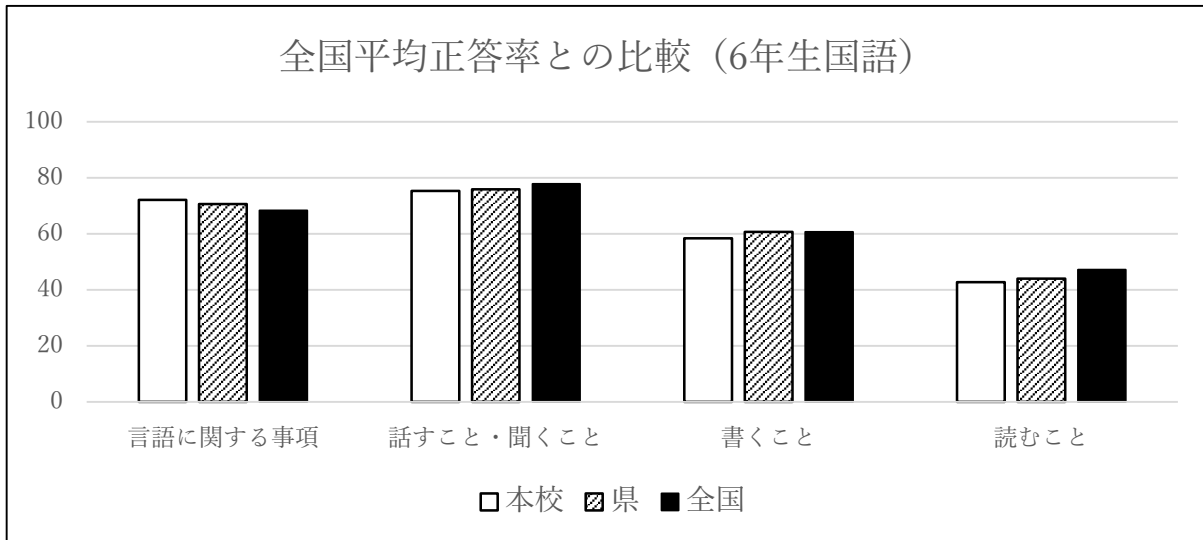
全国学力・学習状況調査は、第6学年・第9学年と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■調査結果及び考察〔第6学年児童〕

1 国語

(1) 結果

4領域のうち、「言語に関する事項」については、全国・県平均を上回ったが、その他の領域については、下回った。特に「読むこと」については、目的を意識して、中心となる語や文を見付けたり要約したりして記述する力に課題が見られた。



(2) 課題と展望

「言語に関する事項」については、日頃の家庭学習による漢字練習や形成プリントによる言葉の学習が、成果として現れている。引き続き地道な取組を続けて、力を維持していきたい。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」については、資料を正確に読み取り、目的に応じて考えを持ったり表現したりすることが課題である。資料の意図を理解して聞いたり、自分の主張が明確に伝わるように文章全体の構成や展開を考えて書いたりすることを学習の中で意識させていく。また、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けたり、中心となる語や文を見付け、要約したりする力をつけていく。

(3) 学力向上のための取組

【学校では】

- 学び合いを取り入れた授業を進めることで、相手意識を持って話したり書いたりする機会を増やしていくことを目指します。
- 新聞記事を活用したワークシートや読み取り問題を家庭学習の課題にする等、読解力や言語力の向上のために、文章にふれる機会を増やします。

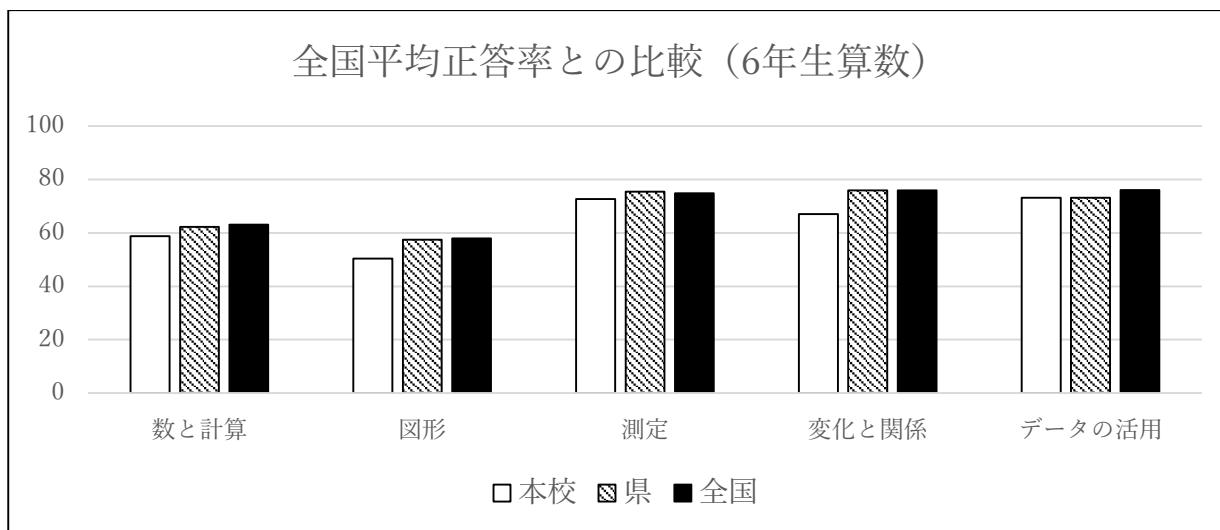
【家庭では】

- 「音読」では御家庭でも言葉の意味や文章の内容を考えながら読むように声をかけてください。「音読」の学習効果は極めて高いです。引き続き御家庭での実践もお願いします。
- 読書、新聞を読む、辞書を使って調べるなど、文字にふれる機会を増やすよう御家庭でも声をかけてください。

2 算数

(1) 結果

5領域のうちすべての領域で全国・県平均を下回った。特に問題の意図に沿って考えたことを記述して説明する問題については、課題が見られた。



(2) 課題と展望

「数と計算」では、「8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量」を求める式と答えを書く問題で、全国平均を大きく下回った。題意を正確に読み取ったり、量感を働かせて答えの見当を付けたりする習慣を身に付けさせる。

「図形」では図形の面積の公式は理解しているものの、「底辺」「高さ」などを図形に沿って正確に判断する力をつける必要がある。図形の構成を多面的に捉えて考えるなど、複数の考え方にふれる機会を設ける。

「変化と関係」では速さを求める式と商の意味を理解についての問題では、全国平均を大きく下回った。求め方を説明したり、式の意味を考えたりする活動を、さらに取り入れていく。

「データの活用」では、帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述する問題で、全国平均を大きく下回った。基礎的なグラフの読み取りはおおむねできているので、全体の量の違いに目を向けるなど、条件を適切に読み取る指導を積み重ねていく。

(3) 学力向上のための取組

【学校では】

- 学習したことが生活の中で活用できるおもしろさや利便性を感じられるようにしていきます。料理での軽量、買い物での代金の計算など、算数を日常に生かす工夫をしていきます。
- 学び合いを取り入れた授業で、相手に分かるように話したり書いたりする機会を増やしていきます。また、様々な考え方に触れることを意識させるようにしていきます。
- 問題を解くときは、答えだけでなく、図や式や言葉を組み合わせて説明するように指導していきます。

【家庭では】

- 家庭学習としてドリルやプリントを出しています。また単元ごとにテストを行っています。家庭学習および持ち帰ったプリントやテストにはひととおりお目通しください。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 「児童質問紙」から分析した本校児童の傾向（質問項目 全 69 問）

| 調査の項目 | 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」など、肯定的に回答した児童の割合 | 本校 | 県 | 全国 |
|-------|---|-------|------|------|
| (5) | 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。【2時間以上の割合】 | 59.8↑ | 49.0 | 49.4 |
| (6) | 自分には、よいところがあると思いますか。 | 73.9↓ | 76.4 | 76.9 |
| (7) | 将来の夢や目標を持っていますか。 | 77.2↓ | 82.3 | 80.3 |
| (13) | 学校に行くのは楽しいと思いますか。 | 91.3↑ | 82.4 | 83.4 |
| (14) | 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。 | 65.3↓ | 70.3 | 70.3 |
| (15) | 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 | 64.1↓ | 68.4 | 70.1 |
| (17) | 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む) | 64.1↓ | 71.9 | 74.0 |
| (32) | 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。 | 54.4↓ | 59.1 | 63.5 |
| (41) | 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。 | 79.3↑ | 75.5 | 73.5 |
| (42) | 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。 | 88.1↑ | 83.6 | 81.1 |
| (43) | 国語の勉強は好きですか。 | 46.8↓ | 56.3 | 56.4 |
| (48) | 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか | 58.7↓ | 63.5 | 63.8 |
| (50) | 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか | 66.3↓ | 72.5 | 74.3 |

(矢印↑↓は県・全国平均との比較)

(2) 改善に向けての取組

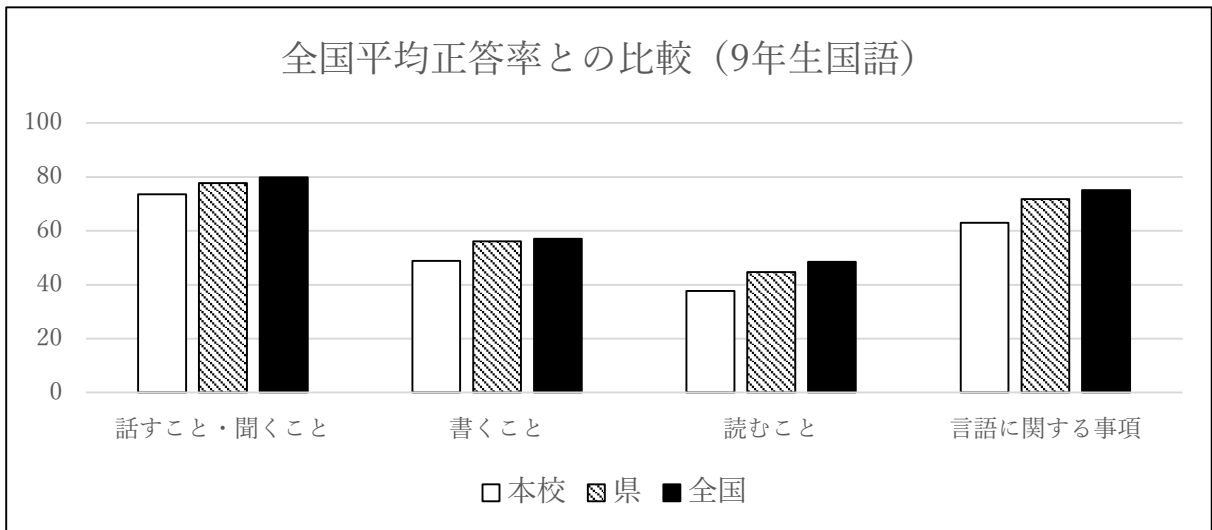
- 本校の多くの児童は楽しんで学校生活を送っていることが伺えます。学校教育目標「夢に向かって生き生きと輝く児童生徒の育成」については、強く肯定している児童が、全国・県の結果と比べて大きく下回っており、自己肯定感の低さや目標を持って生活を送る意識が低いことが分かります。達成感を味わうことができる授業や行事での活動を取り入れていきます。(6)(7)(13)
- 全国や県の結果に比べ、1日当たりのゲームの時間が長く、学習時間が短いことが分かります。また、家庭において計画的に勉強をしようとする意識が低いこともうかがえます。宿題の工夫によって意欲を高めていくとともに、ゲームと勉強の時間をマネジメントすることができるように、家庭でのルールの徹底やお声かけをお願いします。(5)(17)
- 自分の考えを言葉で伝えたり、違う視点の考えに興味を持って考えたりする態度に課題が見られます。学級での人間関係を深めたりや自他の考えを互いに認め合ったりすることを、さらに意識して取り組んでいきます。道徳や学級活動においては、話し合いを意欲的に行っているため、教科の授業においても、意欲を持って取り組める課題を設定していきます。そのためには、児童の意識の顕著な課題である国語科の授業の充実を図っていきます。(14)(15)(32)(41)(42)(43)(48)(50)

■調査及び考察〔第9学年生徒〕

1 国語

(1) 結果

4領域のうちすべての領域で全国・県平均を下回った。分布の割合を見ると、県や国よりも上位層が少なく、中間層が多い結果となった。無解答率は選択問題に関しては、県や国の平均を下回っていたが、自分の考えを述べたり、説明したりする記述問題に関しては、県や国の平均を上回った。



(2) 課題と展望

今回の調査では、全項目において全国・県の平均を下回った。特に条件に沿って、根拠を明らかにしながら自分の考えを書くということに関しては苦手意識が感じられ、無解答率も高い。国語の授業では、自分の考えを自分の言葉で文章にすること、条件に合う文章を書く経験を積み重ねていく。そのためにも他の領域と関連付け、語彙の定着を図りながら、文章を書くことへの意欲につなげていく。

(3) 学力向上のための取組

【学校では】

- 語彙を増やし、その言葉を使って自分の考えを明確にし、説明できるようになる指導をします。
- 条件を捉えたうえで文章を書くこと、自分の立場や根拠を明らかにして自分の考えを書くことの指導を徹底します。
- グループ活動で話し合いや推敲を行うことで様々な考えに気付いたり、よりよい答えを導いたりできる指導を徹底します。

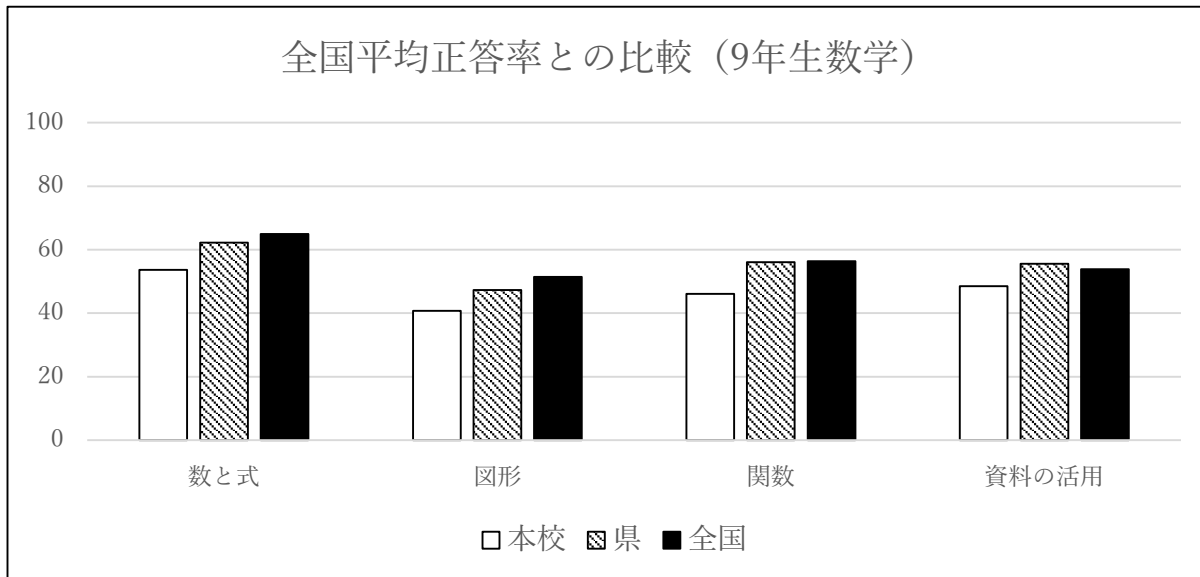
【ご家庭では】

- 例えばニュースを話題に家族で疑問や感想を述べあうなど、他の人の考えに触れる機会を増やすようにしてみてください。他の人の考えと自分の考えを照らし合わせることで、思考の幅が広がります。
- お子さんが活字に親しむことができるように、読書の時間を確保したり、選書のアドバイスをしたりするなど、お声かけをお願いします。

2 数学

(1) 結果

4領域のうちすべての領域で全国・県平均を下回る結果となった。数学の基礎となる数と式の領域が県や全国との平均と比べると10ポイントほど下回っているため、記述式での無解答率も全国平均から20ポイント以上低くなった。



(2) 課題と展望

昨年12月の県の学習状況調査と比較すると、県平均との差は縮まっている。そこで、今後は、基礎的、基本的な内容や知識を習得することと、学び合いの中で自分の意見を伝えあいながら、問題を解決していくことが今後の取組として必要である。

また、資料の活用に関しては、授業の中で生活に即したことに触れていたために、知識として残り、他の領域と比べて全国や県の平均から大きく下回らなかった。

(3) 学力向上のための取組

【学校では】

- 日常的に、基礎的なものから発展的なものまで段階を考慮しながら授業を行います。発展的な内容は電子黒板を用いながら、問題解決の一助となるようにするなどの工夫を行います。
- 学び合いの中で問題を解ける喜びを感じさせたり、多様な考えに気付かせたりして意欲的に問題に取り組もうとする姿勢を育てていきながら、自分の考えを表現できるようにしていきます。

【ご家庭では】

- 数学は数に対する感覚を育むことが必要です。学校から出た課題には必ず家庭学習として取り組むようお声かけをお願いします。
- 学校では授業の中で行った小テストにおいては自分が間違えたところを必ず書き直しをするように指導しています。分からない問題は授業のノートやファイルを見たりしながら粘り強く取り組むようお声かけをお願いします。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 「生徒質問紙」から分析した本校生徒の傾向 (質問項目 全 69 問)

| 調査の項目 | 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合「している」「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合 | 本校 | 県 | 全国 |
|--|--|--------|------|------|
| (7) 将来の夢や目標を持っていますか | | 75.3 ↑ | 70.0 | 68.6 |
| (13) 学校に行くのは楽しいと思いますか | | 87.7 ↑ | 82.6 | 81.1 |
| (15) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか | | 66.7 ↓ | 74.9 | 74.7 |
| (17) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む) | | 54.3 ↓ | 60.1 | 63.5 |
| (26) 1、2年生の時に受けた授業で、コンピューターなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか | | 54.4 ↑ | 45.4 | 33.4 |
| (27) あなたは学校で、コンピューターなどの ICT 機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか | | 44.4 ↑ | 25.5 | 34.8 |
| (28) 学習の中でコンピューターなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか | | 87.6 ↓ | 95.8 | 99.9 |
| (33) 1、2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか | | 65.4 ↓ | 83.6 | 81.0 |
| (34) 1、2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作りだしたりする活動を行っていましたか | | 42.0 ↓ | 60.9 | 59.5 |
| (41) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力することを決めて取り組んでいましたか。 | | 60.5 ↓ | 74.3 | 69.8 |
| (59) 数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか。 | | 95.1 ↑ | 79.4 | 86.6 |

(矢印↑↓は県・全国平均との比較)

(2) 改善に向けての取組

- 本校生徒は体育大会や文化発表会、中体連などの行事を通して充実した生活を過ごしているため、学校を楽しんでいる生徒が多いことが伺えます。・・・(7)(13)
- ICT 機器を活用した教育は多久市が力を入れて取り組んでいるため、本校が県や国のレベルを上回っています。(26)(27)
- 自分の目標を達成するために、計画的に粘り強く取り組む姿勢には課題が見受けられます。また、自分の意見を仲間に伝えたり、自分と違う意見にも柔軟に対応したりする力が不足しています。そこで授業では学び合い活動を通して、お互いを認め合いながら、自分の考えをまとめ、表現して生徒同士で交流し思考を深めたり広げたりする活動を行っていきます。(15)(17)(33)(34)(41)
- 学級活動や授業での課題を自分事として捉え、解決しようとする力を育てることができれば、主体的な学びが行えるようになると思われます。そのために、多くの場面で学び合い活動を取り入れ、お互いの意見を積極的に言い合う場面を設定していきます。また、授業は黒板を板書するだけでなく、学び合いの中で得たこともノートに記入していくなどの工夫をしていきます。(59)